

令和6年度 自己評価及び学校関係者評価書

令和6年3月11日
札幌市立東月寒中学校

1 学校教育目標

「たくましい力と英知をもった実践力のある人間の育成」
■ 高き理想 ■ つよきからだ ■ 純なこころ

2 経営方針

「東月で学んで良かった」と実感できる学校づくり

3 学校経営の重点

- (1) 連帯と協働からやりがいを生む職場づくり
- (2) 学習習慣の確立と「主体的・対話的で深い学び」の充実
- (3) 健康で充実した生活を送ろうとする態度や実践力を養うための健康教育の充実
- (4) 豊かな感性と思いやりの心をもった心豊かな生徒の育成
- (5) 共に心豊かに学ぶ生徒を育てる特別支援教育の推進
- (6) 保護者・地域から信頼される学校の創造

4 自己評価結果に対する学校関係者評価

分野	評価項目	自己評価		学校関係者評価	
		達成状況	改善の方策	自己評価の適切さ	改善策の適切さ
生徒理解	①日常的な生徒支援や教育相談に関すること	A	・シャボテンログを有効に活用して、生徒一人一人の心身の状態を把握し、日常的な生徒支援に活かす。 ・教育相談の日程を確保し、すべての生徒の声を聴く取組を進める。	A	A
	②生徒が生きる場面づくりに関すること	A	・行事や学年集会などの中学校でしかできない経験を通して、自治的な活動を促し、協働し互いに応援し合い、「東月で学んで良かった」と実感できる場面を増やす。	A	A
	③多様な個によりそった支援に関すること	A	・行事や学年集会などの中学校でしかできない経験を通して、自治的な活動を促し、協働し互いに応援し合い、「東月で学んで良かった」と実感できる場面を増やす。	A	A
学校関係者評価委員会による意見		・生徒の良さを認め自己肯定感を育むだけにとどまらず、自らの長所を伸ばし短所を見つめなおす意識や、ねばり強くやりきる力をつけられるように取り組んでいただきたい。			
学習指導	④「わかる・できる・楽しい」授業づくりに関すること	A	・授業のねらいや目標を明確にし、主体的・対話的で深い学びを実現できる授業づくりに努めるとともに、生徒が学びのコントローラーとなる授業づくりについて研修を進める。	A	A
	⑤個に応じた学習指導に関すること	A	・TSP学力テストを活用して生徒の実態を把握し、個に応じた指導を実践する。また、能力別授業の実施についても検討を進める。 ・学習に関する相談強化週間の取組は継続する。	A	A
	⑥適切な評価に関すること	A	・「指導と評価の一体化」について、校内研修会等で研修を進め、生徒一人一人に応じた適切な評価を行うことができるよう努める。 ・保護者に本校の評価、評定について、丁寧に説明する機会を設ける。	A	A
学校関係者評価委員会による意見		・主体的な授業づくりを進めるとともに、教科についての知識や技能を定着させ、思考力を高められるような学習指導に取り組んでもらいたい。			

分野	評価項目	自己評価		学校関係者評価	
		達成状況	改善の方策	自己評価の適切さ	改善策の適切さ
生徒指導	⑦あいさつに関すること	A	・教職員が自ら率先して挨拶する姿を見せる。 ・委員会活動などの自治的な活動を充実させ、生徒同士の声かけや意識づけを強化する。	A	A
	⑧規範意識、公共心・公德心に関すること	A	・日々、生徒観察に努め、実態を把握し、生徒に的確に課題を示す。また、問題行動が見られた場合には状況によっては家庭とも連携し、粘り強くきめ細やかな指導を行う。	A	A
	⑨個に応じたきめ細かな指導に関すること	A	・肥満や痩身、部活動等でのけが防止に関する個別指導については、できていない部分がある。養護教諭や担任等と協力して個別指導が必要な生徒と関わっていく。	A	A
	⑩食育・健康に関すること	A	・給食だよりや保健だよりを配付する際には、読み合わせや黙読をする時間を確保し、重要な箇所を示すなどする。 ・学級に応じた食指導等に力を入れて実践する。	A	A
学校関係者評価委員会による意見		・個に応じた生活指導については、学校での指導だけでは限界があるはずなので、家庭生活の改善のために、保護者等に向けた情報発信などにも取り組むと良い。			
保護者・地域連携	⑪開かれた学校づくりに関すること	A	・HPをより一層充実させ、行事やボランティア活動などでの生徒の活動を確実に発信する。また、地域や家庭と共同で活動する場を大切にしていってつながりを保っていく。	A	A
	⑫保護者や地域との連携に関すること	B	・PTAや町内会等、地域の活動や運営の維持は課題であるが、可能な限り学校としてできることを検討する。また、保護者や地域の要望に応えられることとそうでないことを整理し情報発信する。	A	A
学校関係者評価委員会による意見		・中学生が地域行事等に参加したりすることは、大きな意義がある。ぜひ、今後も学校と地域が連携を取り、子どもが地域と関わりいきいきと活動する場面づくりを行ってほしい。			
重点目標	⑬「東月で学んで良かった」と実感できる学校づくり	A	・生徒同士が協働することはもちろん、生徒と教職員が協働することも大切にする中で、「東月で学んで良かった」と実感し充実感の得られる活動を創造していく。	A	A
学校関係者評価委員会による意見		・引き続き、生徒が満足感を得られるような活動ができるように、学校全体で取り組んでいただきたい。			

5 次年度、重点的に取り組む項目

<p>③：人間尊重の教育の視点に立った教育相談活動の充実</p> <p>④：生徒主体の授業づくりから評価を見つめなおす取組</p> <p>⑫：保護者（地域）が求める情報の積極的な発信</p>	
学校関係者評価委員会による意見	・子供中心の教育観の中で学校が工夫し模索しながら取り組んでいることは承知している。今後も、地域が求める人材育成のために、可能な限りの取り組みを期待したい。